

弘前市立博物館 ニュースレター

No. 11

令和6年4月号

Hirozaki City Museum Newsletter

■ 新年度が始まりました！

新年度が始まって早1ヶ月が経ちました。今年は例年よりも暖かく、公園内の桜も早くに見頃を迎え、春を満喫した4月でした。

そんな暖かい春に、3名の新たな職員を迎え、ますますパワーアップした博物館では、今年度も趣向を凝らした様々な展覧会・企画を準備中です。早く皆様にご覧いただけるよう、職員一同努力してまいります。

さて、前年度から引き続き開催しております令和5年度企画展「雛と兜」も、桜の満開に合わせて大勢の皆様にご覧いただくことができました。誠にありがとうございます。最終日は5月6日ですので、まだの方はぜひご来館ください。

本年度も前年度に引き続き、ご愛顧を賜りましたら幸いです。なにとぞよろしくお願いいたします。

(館長 熊谷)



■ 新職員紹介

4月からお世話になっております。私自身、自分の意志で博物館に来たことがないほど、博物館と無縁の生活をしており、博物館の価値や意義

をまだ理解しておりません。

異業種からの参戦ということで、わからないことだらけですが、これを逆手に取り、異業種からの視点を持ちながら、今後の博物館の発展に少しでも貢献できればと思っております。(主幹兼運営係長 伊藤)

~~~~~

みなさんこんにちは！4月からFacebook、Instagramを担当する佐藤です。博物館勤務が決まった時に、友人何名かに「博物館ってどこ？」と言われました。思い返せば、人生の中で博物館に足を運んだのは片手ほど。宣伝活動の目標は、「そうだ、博物館に行こう」の気持ちを広めることです。芸術・文化には縁のない生活を送ってきたので、心豊かな人間に少しでも成長できるよう、仕事をとおして学びたいと思います。(主査 佐藤)

~~~~~

皆様はじめまして。今年度から新しく学芸員として弘前市立博物館に加わりました高橋と申します。出身は新潟県十日町市です。進学や就職などで、神奈川県、東京都などを経て、今回弘前市に参りました。専門は美術工芸で、主に漆工芸の研究をしています。特に漆器に用いられる材料(漆や金粉、木材など)に着目し

研究を行ってきました。修士論文では、桃山時代16-17世紀に製作された蒔絵について、使用された金粉の形状を観察し、その違いについて比較考察をしました。

このたび津軽塗で知られる弘前で仕事ができることに、とてもワクワクしております！今後は弘前を中心に東北地方の美術工芸に関する調査研究や、博物館が持つ多彩なジャンルのコレクションを生かした企画展示にチャレンジしたいと思っています。弘前の歴史文化の面白さや、美術工芸の魅力を皆様に伝えられるようがんばります。どうぞよろしくお願いいたします！

(主事兼学芸員 高橋)

■ 展覧会案内ができました♪

弘前市立博物館の令和6年度展覧会年間案内を発行しました。

当館だけでなく、市内の公共施設などで配布していますので、ぜひお手にとってご覧ください。博物館ホームページにも掲載していますので、気になる展示をチェックしてみてください！(主事兼学芸員 高橋)



◀こちらのQRコードから、年間案内をご確認いただけます！

■ さくらまつり開幕！

4月12日(金)から弘前さくらまつりが開幕しました！4月末の現在までにソメイヨシノはほとんど散ってしまいましたが、遅咲きの桜はまだ咲き続けているものもあり、春の名残を見せています。

今年は数年ぶりにコロナ禍の規制も無くなり、弘前公園内も大変にぎわっています。おかげさまで、博物館にも連日多くのお客様がみえられています。館内がにぎわう様子は大変ありがたい限りです。

さて、現在開催している企画展「雛と兜」の会期は5月6日(月・振休)まで！ゴールデンウィーク後半にさくらまつりで弘前公園へいらっしゃる方、ぜひいっしょに博物館にもお立ち寄りください！

(主事兼学芸員 工藤)



▲弘前公園最長寿のソメイヨシノと東門

■ 開催間近

「博物館の初夏もの語り」の紹介、イベント情報

次回企画展は5月25日(土)にオープンする令和6年度企画展1「博物館の初夏もの語り」です！本展は博物館で所蔵する初夏らしい植物や風景を描いた絵画作品などを中心に企画展です。さらに、今回は弘前大学農学生命科学部附属白神自

然環境研究センターのご協力を得て、植物や昆虫の標本も展示します！当館は津軽の歴史と美術を中心とした博物館ですので、普段とは一味違う企画展となる予定です。

これまで当館で季節に合った展示をする機会は何度もございましたが、とくに「初夏」に注目した企画展は初めて開催します。そんな本展のテーマカラーは「緑」と「青」！初夏らしい雰囲気をお楽しみください。そんな本展のテーマカラーは「緑」と「青」！初夏らしい雰囲気を老若男女問わず楽しめる「博物館流」の初夏を準備して皆様のお越しをお待ちしております。

さらに、まだ詳細を詰めている最中ではありますが、弘前大学農学生命科学部附属白神自然環境研究センターの先生方をお招きし、自然関連の講演会を6月中に実施する予定で準備しております。5月末ころに当館ホームページと広報ひろさき6月1日号にて講演会情報を公開する予定です。お楽しみに！

(主事兼学芸員 工藤)

■ 大好評！「津軽弘前藩初代藩主 津軽為信カード」

新聞等でも取り上げていただいた「津軽為信カード」を、4月27日(土)から、ご入場のお客様へ進呈しています。

カードのイラストのもとになったのは、現在、文化センターの前に立っている津軽為信像ではなく、明治時代に本丸に建てられた初代の津軽為信像です。この像は、戦時中の鉄の供出令によって回収されてしまい、現物は残っていません。石膏製の原型が福岡市美術館に所蔵され

るほか、「雛と兜」展ではミニチュア銅像が展示されています。なお、当館ロビーには文化センター前の為信像の原型が展示されていますので、2躯を比べてみるのも面白いですよ！

5月6日(月・振)まで配布予定ですが、なくなり次第配布終了となりますので、お早めにお越しください。



▲来館プレゼント中の為信カード

■ オススメ博物館図録&グッズ

春にオススメの図録&グッズをご紹介します。

新しく弘前に来た方、弘前の歴史をもっと知りたい方には、『弘前市立博物館 常設展示図録』がオススメ！博物館所蔵品を掲載しながら弘前の歴史を分かりやすく紹介しています。

図録と一緒に「いのっち消しゴム」もオススメです。博物館マスコットと一緒に弘前の歴史を学びませんか？ (主事兼学芸員 高橋)

